

# 特集 ふるさと環境フェア2019

## 「ふるさと環境フェア」の概要

県では、展示や体験を通して、県民に福井の環境を守り育てることの大切さを考えてもらう機会を提供するため、企業・団体の協力を得て、「ふるさと環境フェア」を、平成21年度から開催しています。8回目となる今回は、令和元年11月23日（土・祝）に福井県産業会館において、「未来へつなげるふくいの環（わ）〜つなげよう！ふくいの豊かな『いきもの』〜」をテーマに開催し、当日は約7,000人の方に来場いただきました。

## テーマに込めた思い

まもなく、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）（平成23年10月 愛知県名古屋市開催）の「生物多様性の10年」ラストイヤーを迎えます。我々が住んでいる地球上には、数多くの生物が生息しています。人類は、これらの生物の多様性がもたらしてくれる恵沢なしでは、豊かな暮らしの営みはもとより、生きることすら出来ないと言えます。すなわち、人類の生活や文化は、この生物多様性からの食料、薬および木材等の供給等によって、維持・形成されてきています。

国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の中でも、人類の基本的な生存手段である衣食住を担う生態系、生物多様性の持続可能性が、SDGsの達成の極めて重要なテーマです。将来世代にわたつ

て持続的に自然の恵みを得ていくため、今、私たちが何ができるかを真剣に考えることが大切です。

「ふるさと環境フェア2019」では、このことを考えるきっかけとしてもらうため、福井の豊かな生き物に焦点を当て、様々な企画を実施しました。

## 「ふるさと環境フェア2019」の開催内容

### ① エントランスゾーン

池田町の木材を使ったすべり台や木のおもちゃで遊べる「木望のゆうえんち」、ヤギやウサギなどの小動物に直接触れることができる「ふれあい動物園」、水月湖の年縞の実物や里山のジオラマ、絶滅危惧種の昆虫の標本などを間近に見ることが出来るパネル展を実施し、子どもから大人まで見て、触れて、学べる企画となりました。



パネル展



ふれあい動物園



木望のゆうえんち

### ② 各体験ブース

里山ゾーンや街ゾーンなどのテーマに沿って、合計41の体験・展示ブースを設け、来場者に楽しみながら学んでいただきました。中でも、脱プラスチックを目指し開発された大麦ストロー、水素で走る燃料電池自動車のカットモデルの展示や試乗は関心も高く、注目を浴びていました。



燃料電池自動車の展示



大麦ストローの工作

### ③ メインステージイベント

会場のメインステージでは、海洋プラスチック問題や生物多様性について考える講演、エコチャレをPRするZEH（Zero Energy House）の紹介など、多くのイベントを行いました。ここでは、そのいくつかについて紹介します。



クワノトリの剥製展示

## ア 海洋プラスチック問題セミナー

国際的な問題になっている大量のプラスチック漂流物・漂着物についての対策は、福井県でも大きな課題です。冒険写真家の豊田直之氏に、海底に堆積したり漂流したりするプラスチックごみの写真を通して、海洋プラスチック問題についてわかりやすくお話しいただきました。



海洋プラスチック問題セミナー

## イ 平坂寛氏トークショー

### 「捕まえて学ぶ生態学 食べて知る環境問題」

テレビ番組「情熱大陸」にも出演した生き物ライター平坂寛氏による、生物多様性の問題テーマにしたトークショーを開催しました。沖縄に南米産のグリーンイグアナが増えつつあることや、特定外来生物に指定されているウチダザリガニが福井でも生息が確認されていることなど、生態系への影響について、「生き物を食べる」という視点からお話しいただきました。



平坂寛氏トークショー

## ウ エコチャレのPRとZEHの紹介

環境ふくい推進協議会が実施している事業で、季節ごとにテーマを決めて毎月第3日曜日(家庭の日)に、県下一斉の省エネ行動を行う「エコチャレ」のPRを行いました。ステージでは、県内でZEHを推進する(株)タキナミの佐藤氏に、県民の皆さんの声をまとめた映像を交えて、太陽光発電で創る電力により住宅の光熱費がゼロになるZEHの仕組みを分かりやすく説明していただきました。



エコチャレPR

## ④福井県の湧水環境保全への取り組み、

### 「ふくいのおいしい水」のPR

平成17年から県が行ってきた、県内の湧水等を「ふくいのおいしい水」として認定する活動や、認定地の環境を保全する活動支援について発表しました。「ふくいのおいしい水」がそのまま飲めるように水質の基準を設けていることや、各認定地をガイドブック等を用いてPRし、福井の水環境の良さが分かる内容でした。



ふくいのおいしい水ブース

## これからの環境フェアが目指すもの

今回の環境フェアで焦点を当てた失われる生物多様性や海洋プラスチック問題、温暖化による気候変動など、地球を取り巻く環境問題は深刻化しています。これらの問題はメディアを通して知ることができ、実際に触れたり、体験したりと実感することが環境問題について考えるきっかけになると考えます。

このため、県ではこの環境フェアについて今後も継続していくとともに、環境保全の意義をしっかりと伝えることのできるフェアにしていきたいと考えています。



「ふるさと環境フェア2019」会場の様子



環境保全の願いを込めた「未来の木」



海洋プラスチックごみパネル展示